

ごあいさつ

地底の森ミュージアム・仙台市縄文の森広場が開館して、それぞれ 27 年・17 年が経過し、この間、多くの来館者をお迎えすることができました。これも皆様方のご厚情の賜物と感謝申し上げます。

両館は、特色ある施設づくりの柱として、日頃の研究成果に基づいた各種事業の展開を行っており、本研究報告はそうした成果の発表の場と考えております。

佐藤・大塚論考は、2022 年 3 月に発生した福島県沖を震源とする地震の被害を受けた復元住居の強度測定と修繕について、帖地・鈴木論考は、地底の森ミュージアムの第 103 回企画展「〈仙台の遺跡めぐり 長町駅東遺跡〉長町に操車場があったころ」の開催報告ならびに、展示制作にあたり調査を行った内容について報告を行うものです。

最後になりましたが、調査研究活動を進める上で、多くの機関や個人にご教示、ご協力をいただきました。心から厚く御礼申し上げます。

2024 年 3 月

(公財)仙台市市民文化事業団
仙台市富沢遺跡保存館
仙台市縄文の森広場
館長 武山 剛久